

平成19年度 事務事業評価表	担当	都市開発部 都市計画課	内線等	1302
事務事業名	都市計画事務事業		事業コード	5 . 義務的事業
根拠法令等	都市計画法・建築基準法		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	7 . その他	施策名	その他
------	---------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に
手 段	土地利用の内容及び決定手続き、都市計画事業その制限等必要事項を定めることにより
想定する成果	地域特性を生かし、秩序ある都市整備を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
地区計画策定	ラグーナ地区計画変更策定	ラグーナ地区計画変更策定 民成地区計画素案作成	ラグーナ地区計画変更策定 民成工業用地地区計画策定
都市計画決定 変更	改良済 L = 57,882m 都市計画道路の見直し	改良済 L=58,048m 3路線変 更 説明会、縦覧、決定告示	改良済 L=59,108m 見直し路線の抽出
都市計画審議 会開催	2	2	2

成果指標

成果指標名	都市計画道路整備率	議決及び答申案件数・協議、報告案件数
成果指標の説明	都市計画道路改良済 / 総延長 × 100	議決及び答申案件数・協議、報告案件数

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		57.4%				57.6%				59.3%			
成果指標		5				10				7			
事業費	事業費	487				967				1,634			
	人件費	7,784				7,810				7,061			
	(人数)	正規	1.0	非常勤	0.0	正規	1.0	非常勤	0.0	正規	0.9	非常勤	0.0
	合計	8,271				8,777				8,695			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	8,271				8,777				8,695			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	目標としていた地区において地区整備計画を進めることができた。都市計画道路の見直しについては3路線を地元説明会の後、廃止とすることができた。
経済効率性	2	2	2	3	都市計画決定・変更の事務段階までは、時間と労力を必要とするが、比較的経費はかからない。ただし、計画を事業実施に移行させるには多大な費用が必要となる。
事務効率性	2	2	2	2	計画の変更や見直し手続きは県の事前打合せの後、計画案策定から地元意見聴取、審議会への諮問等時間を要する。
必要性	-	3	-	3	義務的事业
小計	6	9	6	10	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	6	9	6	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	良好な住環境への市民のニーズは高く、都市計画法等に基づく様々な手法を駆使した規制、誘導等により積極的なまちづくりを進めていかなければならない。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
市民の意見を聞き取り、意見のとりまとめをどのようにして反映するか。 地区計画や都市計画道路の見直しには、計画素案作りから関係機関の意見調整、住民意見を基に縦覧、審議会への諮問等いろいろな手続きを経る必要があり時間を要す。
上記改善点の実施状況
都市計画マスタープラン策定では、市民の意見を反映するため住民会議の開催やパブリックコメントを実施した。また、都市計画道路の見直しにおいても地元説明会を開催した。また、都市計画審議会委員の内、2名を公募により市民より参画をしていただいた。

今後さらに改善すべき点

市民のまちづくりに対する関心が高まりつつあり、行政と市民のパートナーシップに基づく着実なまちづくりが求められている。
--

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

<b>現状維持</b>
-------------

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

